

「手話ふれあい広場 2017」

聞こえない人と聞こえる人の交流を深めて手話を広めよう!!

日時 2017年10月14日(土) 12時～16時

場所 逆瀬川 アピア1 5階アピアギャラリー

『手話を知ってほしい』『手話を広めたい』と開催された手話ふれあい広場 2017。

手話コーラスや手話による座談会で、会場はたちまち盛りあがりました。手話クイズでは、会場に参加した人々が一緒になって手を上げて“私”“僕”“俺”とそれぞれ夢中になっています。元気な声があちこちから飛び交ってその賑やかなこと!

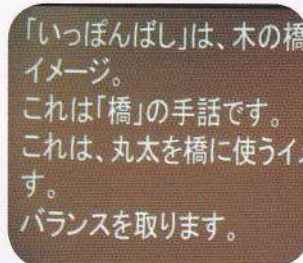
最後の公開手話講座で日常の挨拶や会話の手話の解説と実技があって熱心に学びました。会場の一部には手話コーナーやバザー等も開催。隣のアピアホールでは手話落語も開催されていて、若い人も年輩の人達も午後のひと時を存分に楽しみました。



手話うた「さんぽ」(となりのトトロ) ♪坂道～



♪トンネル～ 草っぱら～



♪いっぽんぼしに～ でこぼこじゃり道



♪みつばちぶんぶん 花ば～たけ～



♪友だちたくさん うれしいな



いよいよスタート。若いメンバーさんが会合をします。



手話落語家 宇宙宇福だんごさんとの座談会も。



会場内ではバザーも開催。

平成 29 年度 ボランティア活動助成 活動活性費助成配分事業

ボッチャとダンス de ジャズコンサート

ボッチャと車椅子レクダンス、ジャズコンサートの異色のコラボイベントが 10 月 21 日(土)に末広体育館にて開催されました。主催はプロのミュージシャンと数々の施設等をマッチングしているボランティアグループ『虹の輪コンサート』。イベント開始と共に、ジャズバンド「クープ・ド・クエル」による演奏が始まります。“世界に一つだけの花”や“言葉にできない”など、アップテンポな曲からしっとりした曲までジャズの世界に引き込まれます。そんな生演奏と『車椅子レクダンス楠の会』によるコラボでは、演奏はダンスに合わせ、ダンスは演奏に合わせてながら真っ赤な衣装のダンサーたちがしなやかにダンスを披露。そして会場に来ていた観客も一緒に大きな輪になり、車椅子レクダンスを体験。生演奏の中、皆さんそれぞれに自然と体が動き出します。そしてイベント最後はボッチャ体験。伊丹・宝塚のボッチャ部のメンバーによるレクチャーに始まり、体験が始まるとあちらこちらから「お～!」「おいしい～!」「いきすぎた～!」と声が聞こえてきます。

虹の輪コンサート代表の重政さんは、昨年度 2 月に開催された助成金報告会でボッチャ部の活動を知り、「一緒にイベントをしませんか?」とお声を掛けたとのこと。ボッチャとコンサートを繋ぐ何かがあれば・・・と考えていた時に、ボッチャ部から車椅子レクダンスグループを紹介され、今回のようなイベント開催に繋がったそう。「市民と障害者が一緒に音楽を楽しめる場を作りたい、音楽があれば何でも繋がるんです。」と今後も色々なグループとのコラボイベントを行っていきたくと話しておられました。(ハチ)



ジャズバンド「クープ・ド・クエル」年 1、2 回は、こういったコラボをしています。



『車椅子レクダンス楠の会』によるダンスは、会場を魅了します。



ボッチャ体験では、皆さん球を投げる方向や角度を慎重に決めます。



宝塚にもボッチャのチームがあります。日本全国の大会で活躍しています。